香川県糖尿病療養指導士看護ネットワーク
Qの会
第31号
令和1年8月31日
広報部

第28回「Qの会」研修会・総会報告

6月23日香川大学において「Qの会」第28回研修会・総会が開催されました。

今回のテーマは「認知症のある糖尿病患者さんへの支援」で、香川労災病院認知症看護認定看護師の吉川明美先生・訪問看護ステーションなつめの山西育子先生・ケアマネジメントセンター祥の三好真寿先生の講演がありました。認知症ケアの基本である、認知症の原因や症状、その接し方について、また訪問看護の現状やケアプランの立て方などの講演がありました。訪問看護を開始するときは、患者と十分な話し合いをし、何が一番困っているかを把握する、そして家族の援助や経済力を加味しながらプランを立てることが大切であることや、それを患者・家族に納得してもらうための実際の方法が学べました。病院の看護師と訪問看護師との関わり方の視点の違いを実感しました。グループディスカッションでは、認知症のある糖尿病患者の2事例をもとに、在宅での問題点や支援方法について話し合いました。最後に各グループごとに発表し意見の共有を行いました

総会では、事業・予算・役員改正とも可決成立しました。研修会費用の増額については、研修会時の託児所の開設費用として予算が認められました。

研修会アンケート結果

第28回研修会参加67名のうち62名より回答をいただきました。

講演について、良かった理由は「認知症の基本的な病態や看護師の関わり方が具体的に理解できた」「訪問看護がイメージしやすく現場の実際の関わりを知ることができた」「介護保険とケアプランのプロセスが具体的に理解できた」などでした。また、グループディスカッションでは「他の施設での取り組みがわかって勉強になった」「病院と在宅での援助の違いや視点の違いが改めて認識できた」という意見がありました。

今後の研修会のテーマについて「カーボカウントについて」「包括ケア病棟でできること」「コーチング」などたくさんの意見がありました。

アンケート結果を参考にし、より良い研修会にしていきたいと思います。

香川県糖尿病療養指導士看護ネットワーク「Qの会」

第29回研修会のご案内

日時…2019年10月20日（日）13時から

場所…香川大学医学部看護学科305教室

メインテーマ…行動変容につなげるコーチング活用法

研修会のご案内

認定更新のための研修単位が取得できる予定の研修会をお知らせします。

☆第24回日本糖尿病教育・看護学術集会・・・第1群または第2群　4単位

日時…2019年9月21日（土）～22日（日）

場所…幕張メッセ

☆日本糖尿病学会中国四国地方会第57回総会・・・第2群4単位

日時…2019年12月6日（金）～7日（土）

場所…あわぎんホール

☆第54糖尿病学の進歩・・・第2群4単位

日時…2020年3月13日（金）14日（土）

場所…石川県立音楽堂他

「ありがとうございました」　KKR高松病院　齋藤弘子

この度、私事により理事を退任させていただくことになりました。5年間という短い間でしたが、理事の皆さん、会員の皆さんには大変お世話になりました。

理事をつとめるようになってから、普段はなかなかお会いする機会のない方々と話をさせていただくことが増え、糖尿病看護の奥深さを知ることができました。調査研究委員会に所属し、委員の皆さんと看護研究を行っていくなかで、難しさを実感するとともに一つの研究にみんなで取り組む楽しさも学びました。

また、多くの研修会に参加して知識を得ると同時に会員の皆さんとグループワークをすることで、多方面からの視点を持つことの大切さを学びました。ファシリテーターはまだまだ下手でしたが、参加してくれる皆さんに助けていただきました。本当にありがとうございました。

これからも研修会などで皆さんにお会いすることがあると思います。どうぞよろしくお願いします。

高松市立みんなの病院　日下由美子

私は2年前から糖尿病Qの会の役員として活動をさせて頂きました。活動の中で、一番印象に残っているのが、どの役員の方も糖尿病看護に熱意を持って活動されているという事でした。香川県は、糖尿病受療率ワーストクラスであり、深刻な課題となっています。私自身も多くの患者さんの療養支援に携わる中で、困難事例に直面し、思い悩んだ時期がありました。そんな中、Qの会の役員として、活動をさせて頂く機会をいただきました。その活動の中で、様々な看護の実践知を聴くことができた事で、微力ですが患者さんへの療養支援に役立つことが出来ました。また、看護研究委員として、多施設の方と共同研究をさせて頂いたことで、今まで、苦手であった看護研究について学ぶきっかけともなりました。今回、私事により、役員を退きますが、糖尿病Qの会で学んだ事を少しでも多くの患者さんやこれから看護師として成長していく仲間のために役立てていきたいと思います。

最後となりましたが、宮武先生・藤本さんを始め役員の方々大変お世話になりました。これからも糖尿病Qの会の益々のご活躍をお祈り致します。

◆編集後記　令和元年高齢化はますます進んでいます。糖尿病看護も進化しなくてはと、思案を巡らす毎日です。木村裕美・串田久美

発行所　香川県糖尿病療養指導士看護ネットワークの会
http://www.anokai.org

♪質問・ご意見がありましたら　広報担当　串田まで　メール peaceful3k@yahoo.co.jp　FAX 087-898-5719